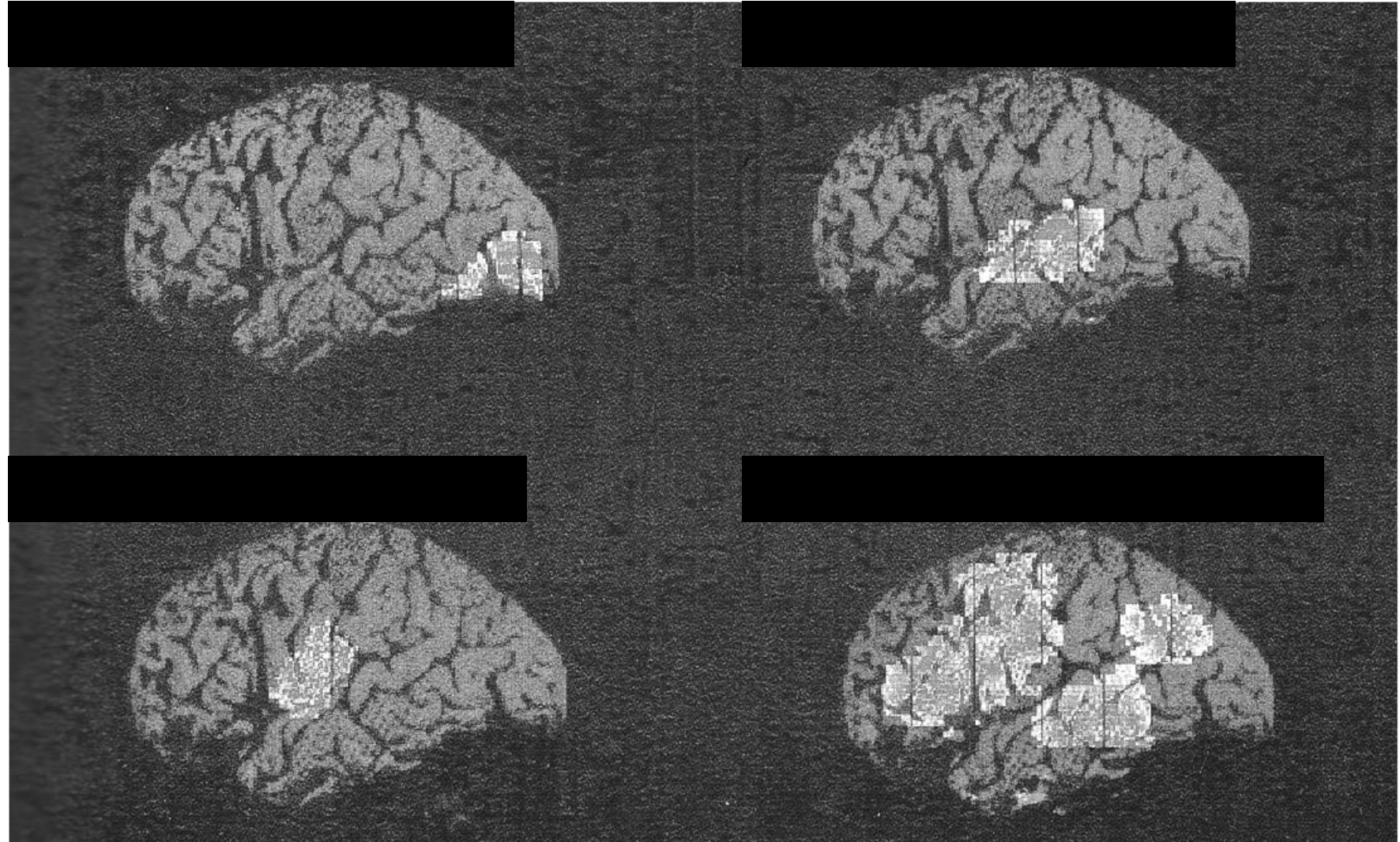


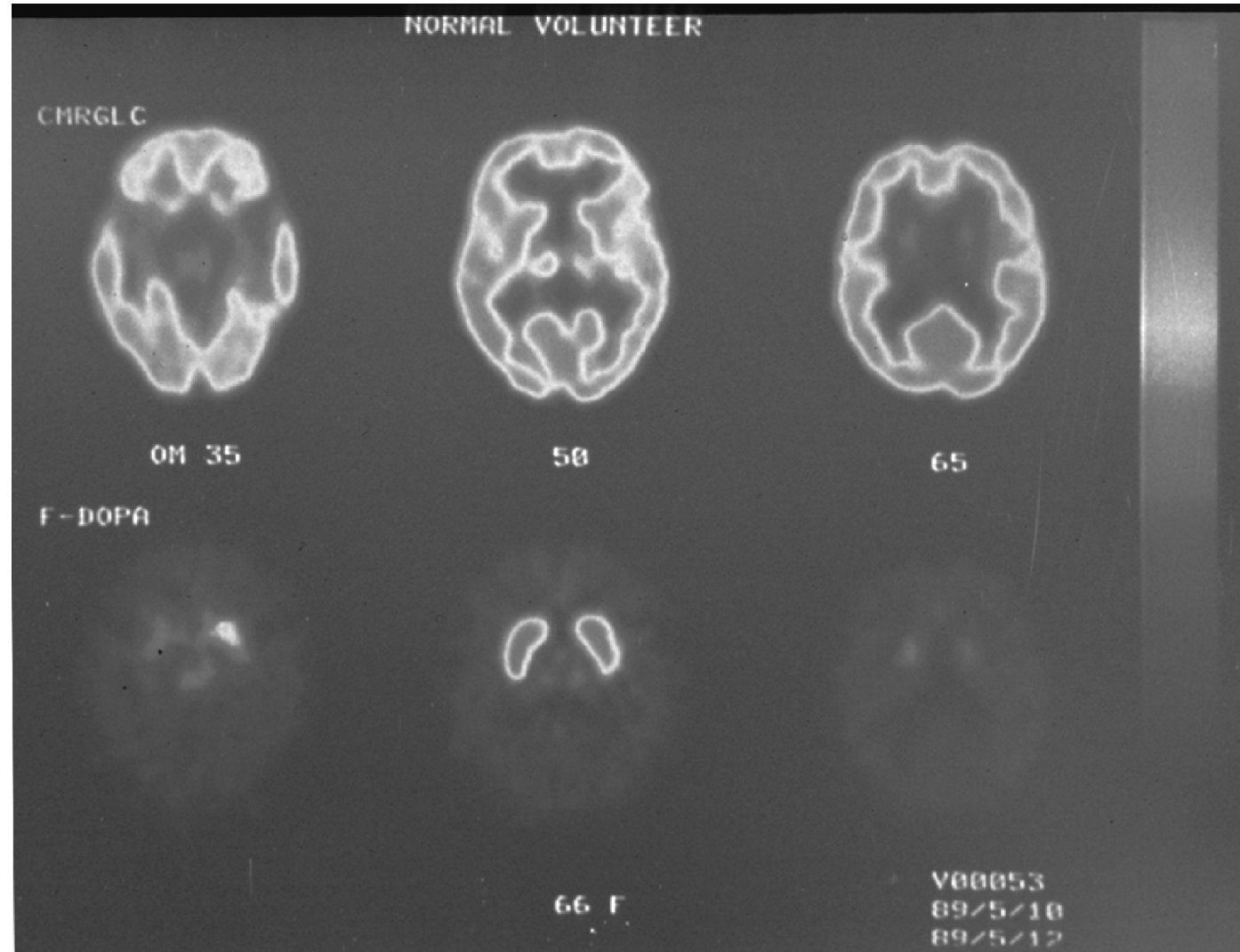
言語機能



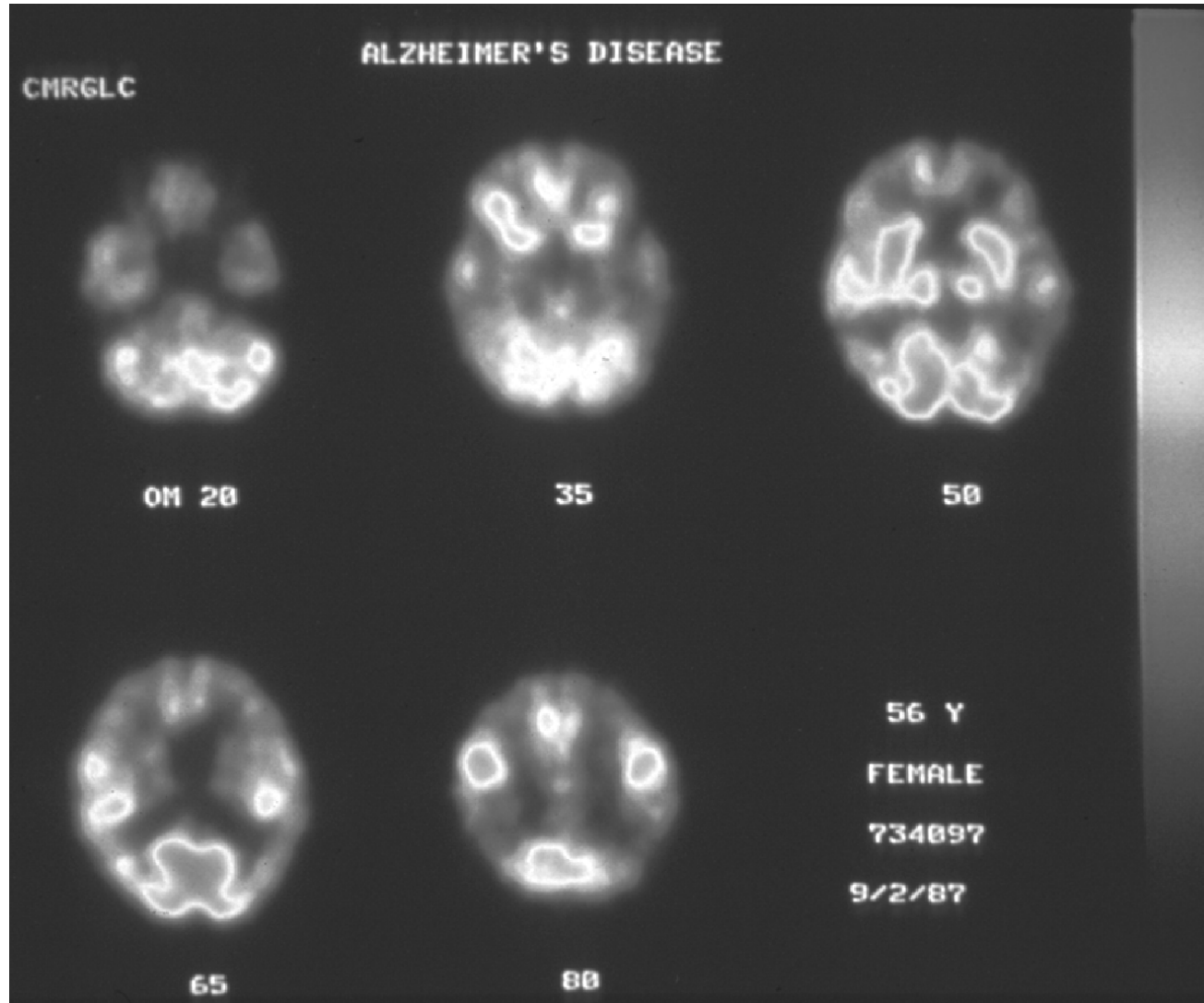
ポジトロンCTー正常人

糖代謝

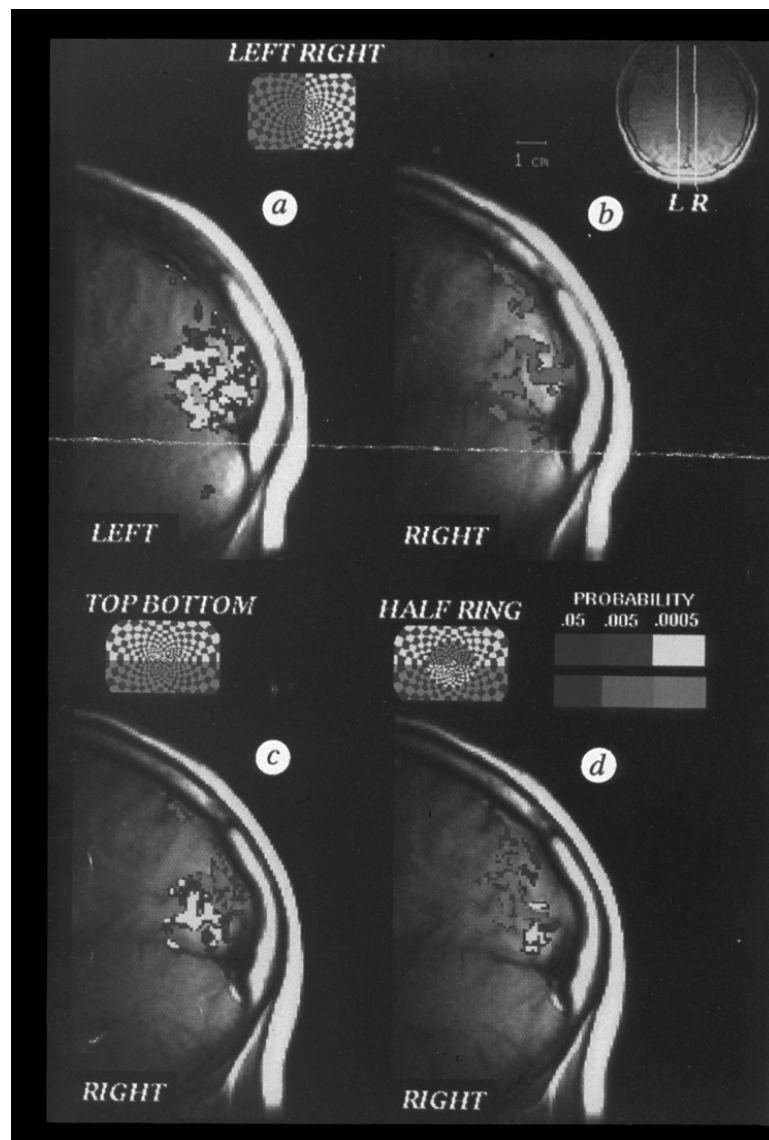
ドパミン



アルツハイマー病の糖代謝

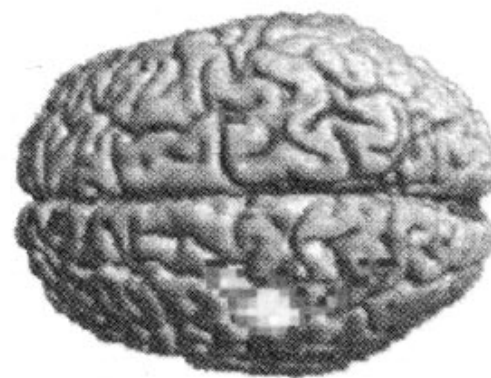
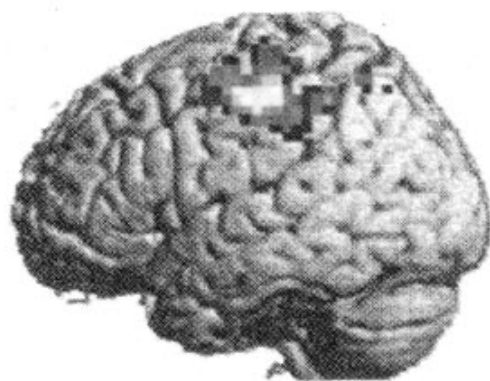
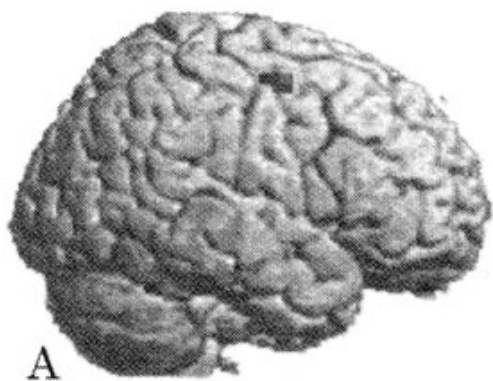


機能的MRI

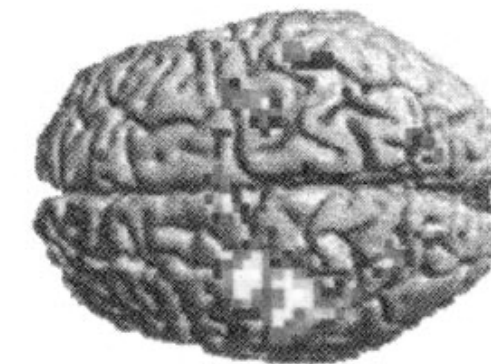
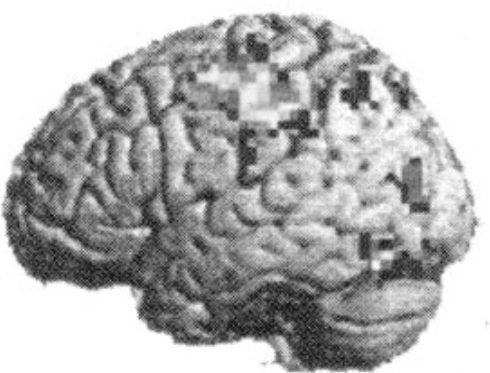
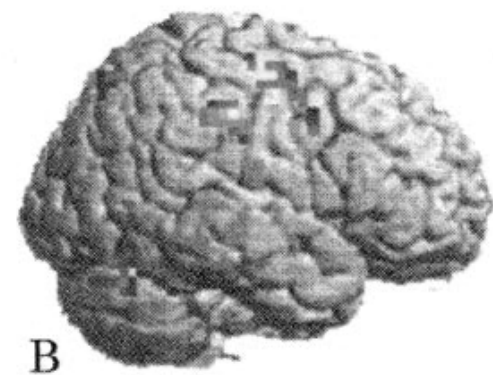


運動機能の加齢変化

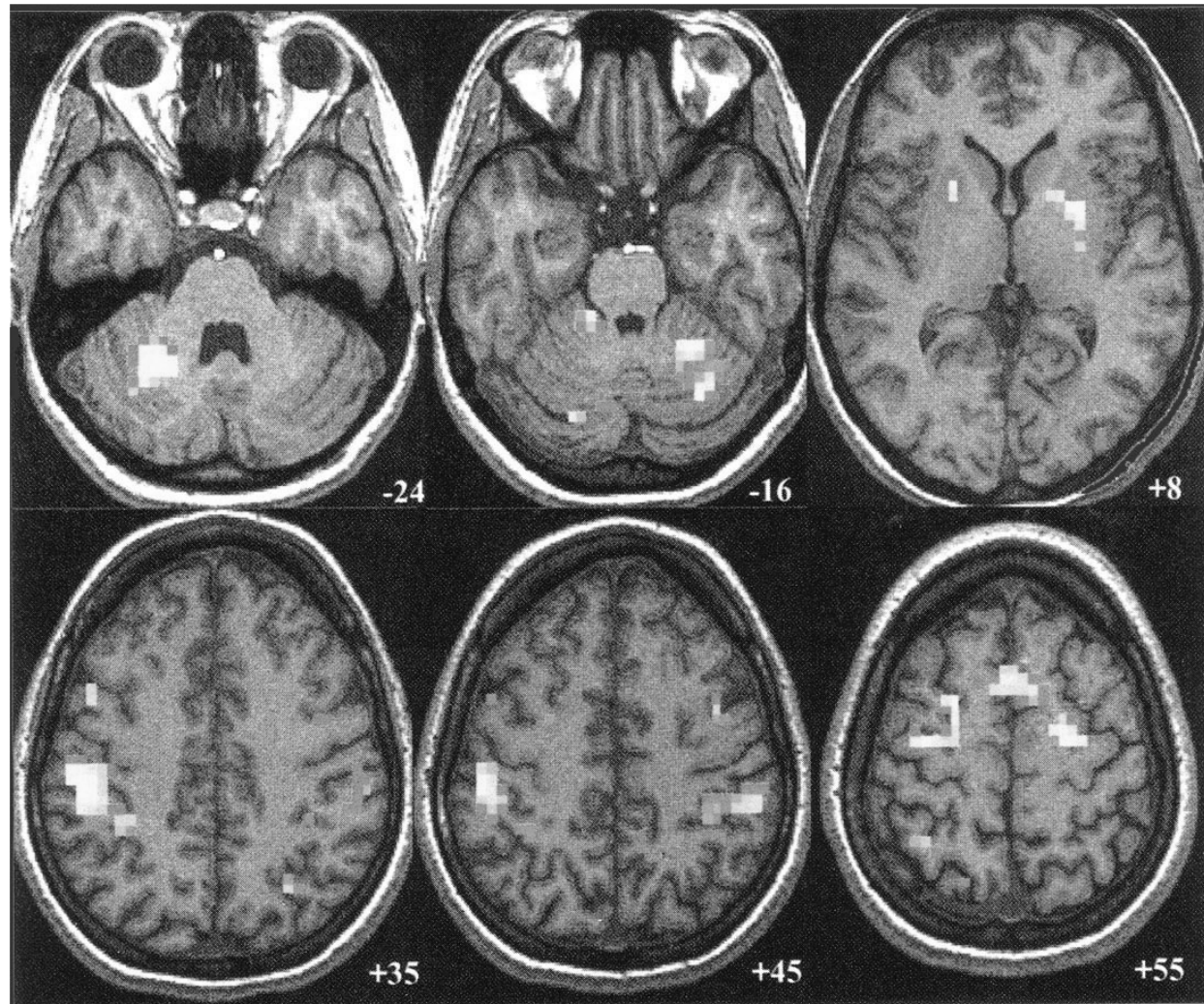
若年者
35歳<



老年者
>50歳



老年者では脳のいろいろな場所が機能を代償



聞いた言葉を話す

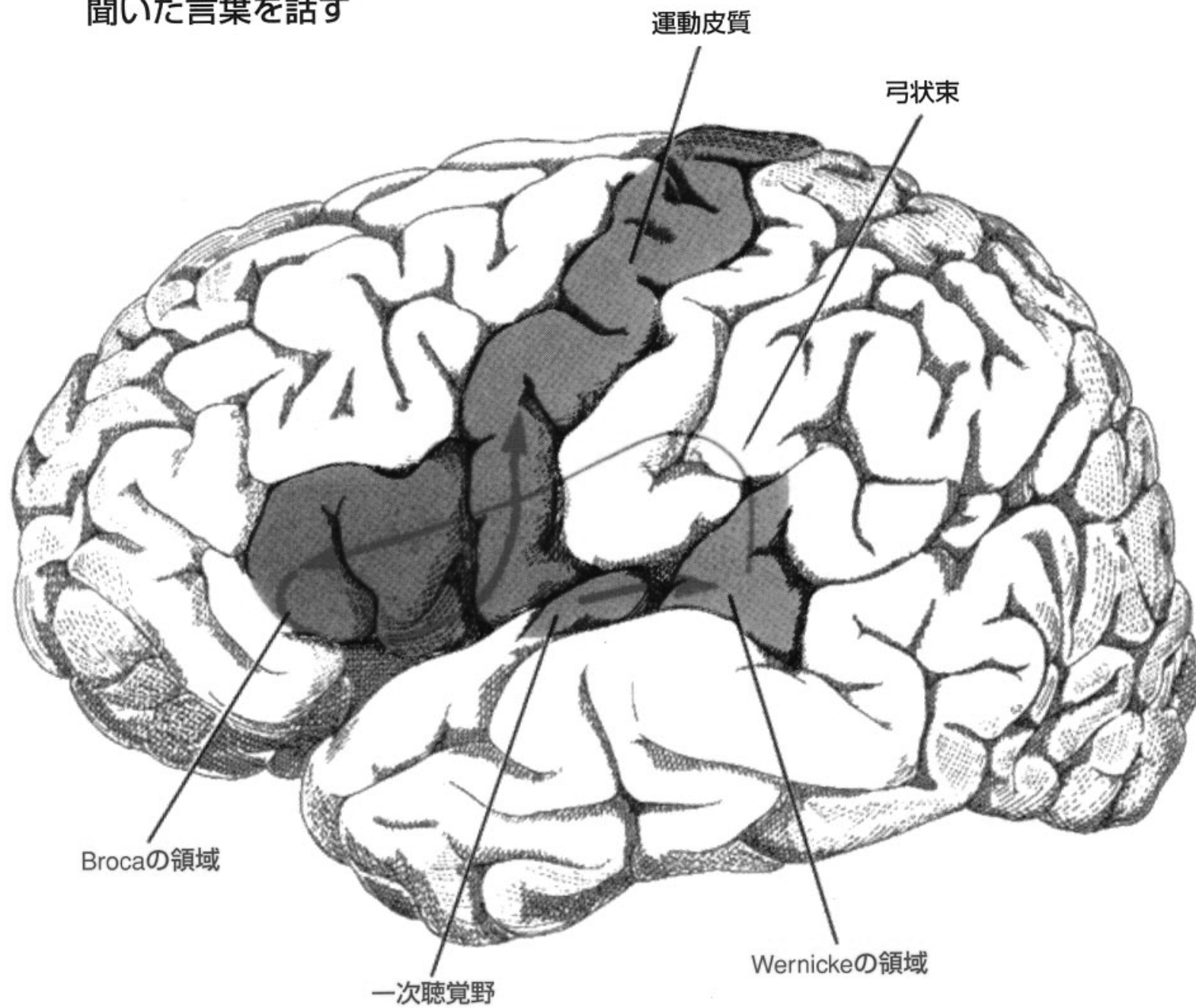
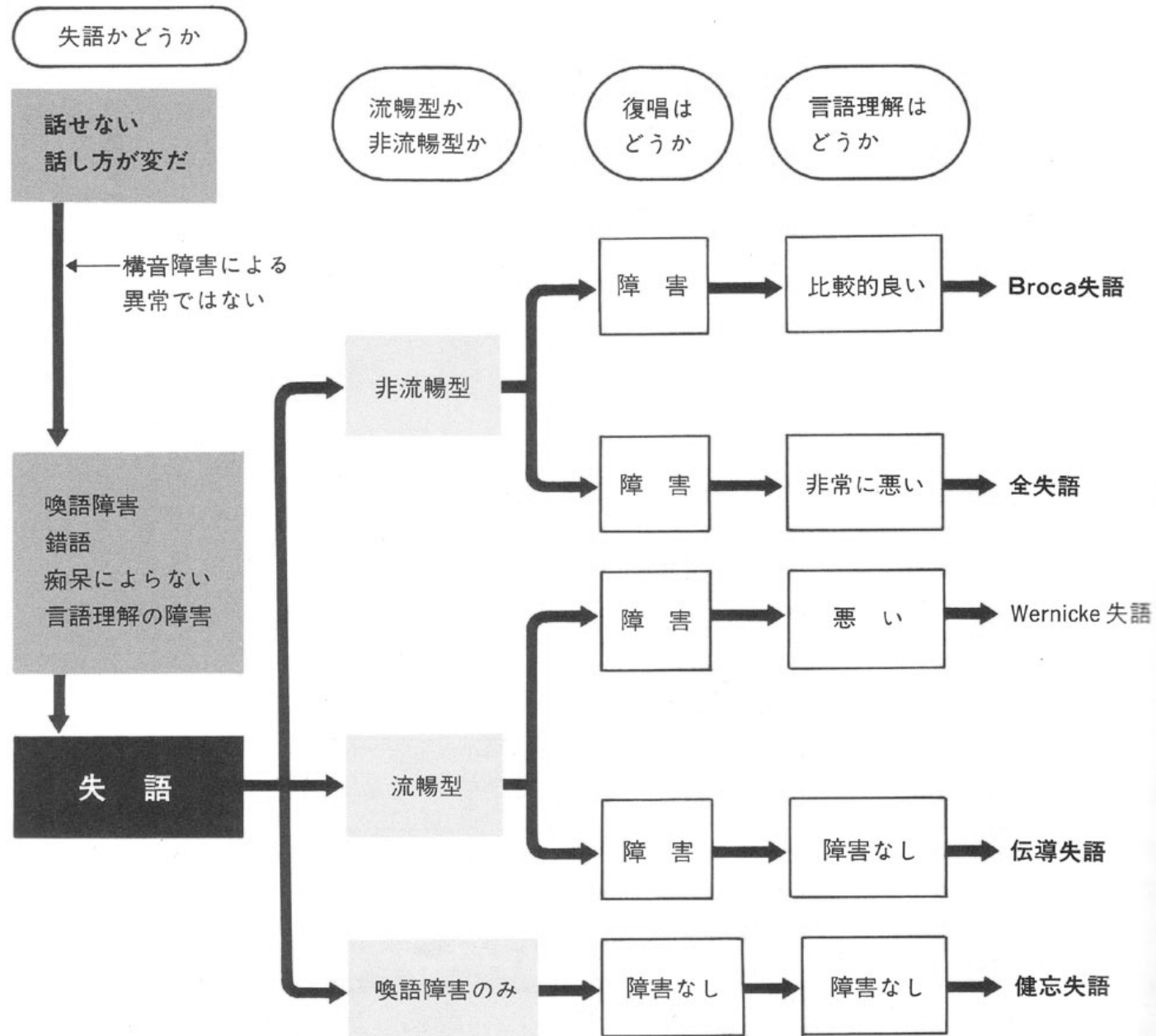


図2 失語の診断フローチャート



定型的 Broca 失語の発話サンプル。

〔症例〕 K. U. 58歳，男，右利き。

左半球 Broca 領域，その皮質下およびその後方を含む左中大脳動脈上行枝領域の梗塞。

「調子はどうですか？」

『アリガトウゴザイマス。

チョウシ……アノナ……チョウシ……エートナ……チョウシハ……エートナ……チョウシハ……ヨイデス。ヨロシイ』

「どんな練習してますか」

『エートナ……アイ……アノ……ア……イ……イ……，アイウエオ，カキクケコ，イウテナ……。○カラ……アッパ……ラッパ……アッパ……○カラ……ジオ，ダジオ……ラジオ』

「病気の前はどんな仕事？」

『シゴトハナ……アノ……エートナ……エート……，タ，タ，タ……ダイク（大工）。ダイクノウトウ（棟梁）』

努力しても発語は開始しにくく，prosody も悪い。構音は不明瞭な部分（○印）あり（失構音），非流暢。努力の果てにはぼつりと単語が出る。音節性錯語もある。

い

月火水金土日

12345678910

月水 土

図9-1 Broca失語の書字例

(37歳, 右利き男)

「いろは」を書かせると「い」しか書けない。ところが、「月火水…」、「1, 2, 3…」なら書き出せる。「つき」とは書けないが、「月, 火, 水の月です」といえば「月」と書ける。「みず」、「つち」も同じ。いずれも左手。明らかに漢字, 数字で, かつ系列的なものが扱いやすい。

感覺性失語 sensory aphasia

Movie Here

定型的 Wernicke 失語の発話サンプル

〔症例〕 I. H. 68歳, 男, 右利き

左第一側頭回後方 (Wernicke 領域) を中心とする皮質下出血

「どこか悪いところありますか」

『イヤ, ガッコウカラ……ガッコウカラ……マクッタラナァ……ガ
クデモオッタラナァ……エエデショウ。ホシタラマコッテ……ソウヤ
ナ……マケテキテモラウホドエエバ, アランヤロナァ』

『トッパイガ, トッパイガ, ロクジュウ, オテップ……マケヨウハ
ヤ…』

発語は自然に開始されるが, 音節性や語性錯語, 新造語, 分析
困難な音などがまじり, 文意不明。しかし prosody 正常で流暢型。

秋 月 人

秋 月 人 月 と も 人 は
空へゆく

秋 月 で 人 は かわる

秋 月 から 月 が かわる 手 人 は かわる

秋 も はや 月 も かわる ごとく 人も
わいしく つづく

図 9-2 Wernicke 失語の書字例 (46歳, 右利き男)

「秋・月・人」の三字を与えて文を構成させたもの。形式的には文をなしているが、意味は全く不明。

觀念失行 ideational apraxia

Movie Here

觀念運動失行 ideomotor apraxia

Movie Here

着衣失行 dressing apraxia

Movie Here

視覚失認 visual agnosia

Movie Here